

シラバス

31年度

学校名: 専修学校インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義、演習	講義時間		1年前・後期	
授業科目	グラフィックデザイン演習	担当者	新崎 竜哉	科目必修区分		必須	
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> グラフィックのアイデアスケッチにおける陰影処理、透明感、材質感の表現手法と、映像の絵コンテ製作に必要な表現方法を学びマーカークラシックの技術や技法を身につける。 コラージュ制作による画面構成とイラストレーションテクニックの表現方法とエアープランの技法を学ぶ。 シルク印刷の工程、版下から製版/焼付け/洗浄/印刷までを学ぶ。 造形的な立体を撮影し、Mac制作でポストカードの制作まで展開する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 画材用具での陰影処理や透明感、材質感の表現手法など、絵コンテ制作などが描けるようになる。 マーカークラシックでの表現方法を学び技術や技法を身につけることができる。 コラージュ制作での表現技法や構成等が出来るようになる。 表現方法として、マスキングやエアープランでの技法ブラッシングテクニックができるようになる。 スクリーン印刷の知識や技法までの工程を学ぶことで、就職活動へと繋げることが出来る。 立体造形の知識や技術を学び、撮影からMac制作まで作品のクオリティを上げることが出来る。 						
授業計画	総授業時間数	105時間	授業回数	35回	1回授業	3時間	授業時間数
	1	・デザイン用具の使い方/マーカークラシック・POP用具/ストローク練習					3
	2	・技法/マスキングテープ/マスキングテープ/コピック/プロッキー/絵具等					3
	3	・アイスクリーム(チョコサンデー)マーカークラシック制作					3
	4	・木とパンとリンゴ/マーカークラシック制作					3
	5	・絵文字制作 下書き・トレース					6
	6	↓ 着彩/色鉛筆・マーカークラシック・絵具等					6
	7	↓					6
	8	・コラージュとイラストレーション コラージュ制作 B4					6
	9	↓ トレース					6
	10	↓					6
	11	・イラストレーション エアープラン/アクリル絵の具・コピック・色鉛筆 着彩					6
	12	↓					6
	13	↓					6
	14	・シルク印刷の、案出しから版下作業/製版/洗浄/乾燥/印刷迄の工程。					6
	15	↓					6
	16	・イラストレーション&カレンダー 造形粘土による立体。					6
	17	↓					6
	18	・造形 粘土による立体から平面(ポストカード制作)					6
	19	↓					6
	20	シルク/イラストレーション/立体(造形)～平面(ポストカード) 3ローテーション					6
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
		合計時間数					105
教科書	・色鉛筆の技法百科(配布プリント)						
時間外 学習	・特になし						
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度/勤怠状況 課題提出物状況 課題クオリティ/提出期限厳守 【授業態度/勤怠状況 20パーセント、課題提出状況 20パーセント、課題クオリティ/提出期限厳守 60パーセント】 						
備考	・参考文献 グラフィック社						
担当詳細	1. 実務家 2. その他			経歴等			

シラバス

31年度

学校名: 専修学校インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義 ディスカッション	講義時期	1年前・後期	
授業科目	志学1	担当者	謝敷宗邦	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	KBC学園の教育理念に掲げられた「人財」を目指し、人間性を磨き各自の「志」をたてるために「学生クレド」について理解を深め、望ましい価値観や考え方を身に付ける。					
到達目標	仕事をするという心構えを見つけることができる。 ディスカッションに積極的に参加することができる。 社会における自身の立ち位置を見つけることができる。 デザインと社会の関わりを関係付けることができる。					
授業計画	総授業時間数	105時間	授業回数	35回	1回授業 3時間	授業時間数
	1	自己紹介、アイスブレイク(学園理念、自利利他の共有)				6
	2	他学科との交流を行い、学校の仕組み・ルールを理解する。				27
	3	志学1テキスト/序章、ねらい・学習目標、感謝(クレド1)、兄弟学級懇親会(明朝_クレド4を参照)				10
	4	志学1テキスト/感動(クレド2)、思いやり・気配り(クレド3)				11
	5	志学1テキスト/明朝(クレド4)、挨拶(クレド5)、素直(クレド6)				18
	6	志学1テキスト/チャレンジ精神(クレド8)				6
	7	志学1テキスト/永久戦力(クレド9)				3
	8	志学1テキスト/プラス思考(クレド7)				12
	9	入学からの振り返り、大掃除(思いやり・気配り_クレド3を参照)				6
	10	1年間の振り返り(永久戦力_クレド9を参照)				6
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				105	
教科書	KBC学園志学 I・II テキスト(2018年4月発行/学校法人KBC学園「志教育」プロジェクト制作)					
時間外 学習	・特になし					
成績評価 方法	授業態度40%、レポート提出率20%、出席率40%					
備考						
担当詳細	1. 実務家	経歴等	株式会社若菜企画 沖縄デザインセンター 制作部 平成19年3月から平成21年4月			

シラバス					
31年度		学校名：	専修学校インターナショナルデザインアカデミー		
学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義 実習	講義時期	1年前・後期
授業科目	コンセプト道場	担当者	伊東正彦	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン表現の根幹と言える「コンセプト」の存在と重要性を知る。 ・ワークショップを通して「コンセプト」の発想法を実践的に身につける。 ・「コンセプト」からデザインを考える習慣を身につける。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンセプト」を発見するプロセスを実習を通して確認することができる。 ・「コンセプト」からデザインを発想することにより、 ・説得力、オリジナリティのあるデザインを創造することができる。 ・課題のついてのチームディスカッション及びプレゼンテーションを通して、自己表現力、自己アピール力を高めることができる。 				
授業計画	総授業時間数	102時間	授業回数	34回	1回授業 3時間
	1	基礎講義「デザインとコンセプトの関係」	実習「コンセプト発見法」		15
	2	コンセプトワークショップ① 既存価値から新しい価値の発見			18
	3	コンセプトワークショップ② 既存価値から新しい価値の発見			18
	4	コンセプトワークショップ③ オープンコンペへの挑戦「宣伝会議賞」			18
	5	コンセプトワークショップ④ 沖縄のコンセプトを考えるーその1			18
	6	コンセプトワークショップ⑤ 沖縄のコンセプトを考えるーその2			18
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				102
教科書	特になし				
時間外学習	自宅や放課後などを活用し、コンセプトメイキングの打ち合わせをチームで実施				
成績評価方法	出席率30%、授業取り組み姿勢30%、コンセプト・プレゼンテーション40%				
備考					
担当詳細	1. 実務家	経歴等	株式会社アサツーディ・ケイ HATOYA株式会社 広告企画・制作業務歴36年		

シラバス

31年度

学校名：専修学校インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	グラフィックデザイン科1年生		授業方法	講義・実習		講義時期	1年生前期
授業科目	イラスト		担当者	米須清人		科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	社会におけるイラストの可能性や必要性を学び趣味ではなく仕事にできるキャラクターデザイン技術を習得する。 伝えたいメッセージをキャラクターデザイン、イラスト、ロゴマークを通して人に伝えられる技術を習得する。						
到達目標	業界に出ても通用するような依頼、納品までの流れを理解する。 相手(クライアント)の要望や希望を汲み取れるようになる。						
授業計画	総授業時間数		33時間	授業回数	11回	1回授業	50分
							授業時間数
	1	前半講義・社会におけるイラストの必要性について① 後半実習・自分自身の擬人化					3
	2	前半講義・社会におけるイラストの必要性について② 後半実習・テーマに沿ったキャラ制作①					3
	3	前半講義・社会におけるイラストの必要性について③ 後半実習・テーマに沿ったキャラ制作②					3
	4	前半講義・社会におけるイラストの必要性について④ 後半実習・テーマに沿ったキャラ制作③					3
	5	テーマに沿ったキャラ制作完成(クラス内で投票)総評					3
	6	実習・テーマに沿ったロゴマーク制作 ・禁煙・無煙・受動喫煙防止のロゴマーク					3
	7	実習・テーマに沿ったロゴマーク制作 ・禁煙・無煙・受動喫煙防止のロゴマーク					3
	8	実習・テーマに沿ったロゴマーク制作・禁煙 ・無煙・受動喫煙防止のロゴマーク					3
	9	実習・テーマに沿ったキャラクター制作 ・マスコットキャラクター公募取り組み					3
	10	実習・テーマに沿ったキャラクター制作 ・マスコットキャラクター公募取り組み					3
	11	実習・テーマに沿ったキャラクター制作 ・マスコットキャラクター公募取り組み					3
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	合計時間数						33
教科書	MDN、定期購読雑誌やコラムなどetc						
時間外学習	特になし						
成績評価方法	授業態度、課題提出率、課題クオリティなどから総合的に判断 出席率50%、授業態度20%、課題提出15%、課題評価15%						
備考							
担当詳細	1. 実務家		経歴等	株式会社バラエティアートワークスで3年間イラスト業務に従事			

シラバス							
平成31年度	学校名:		インターナショナルデザインアカデミー				
学科・学年	グラフィックデザイン科1年次		授業方法	講義/実習		講義時期	後期
授業科目	写真基礎		担当者	東 英児		科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	デジタル一眼レフカメラの操作方法の基礎を学ぶ。さらには、連携するソフトウェア(iMovie)、Webサービスとの連携を学習する。						
到達目標	・絞りとシャッタースピード、露出を理解して適切なカメラ操作ができる・写真作品について自分なりの解釈を説明できる						
授業計画	総授業時間数	69時間	授業回数	23回	1回授業	150分	授業時間数
	1	機材の取扱①、F値を理解する					3
	2	機材の取扱②、スローシャッター(ライトを使用・カメラスタジオ)					3
	3	課題①「表情」を撮る(公団付近)					3
	4	撮影した写真を動画にしてみる①(iMovie使用)、課題②「家族」説明					3
	5	撮影した写真を動画にしてみる②					3
	6	写真の基礎 光の捉え方					3
	7	課題②「家族」提出、プレビュー					3
	8	驚き盤 作成①					3
	9	驚き盤 作成②、課題③「夏」「食」説明					3
	10	課題③「夏」「食」提出、プレビュー					3
	11	RAWデータ撮影の設定、広告写真の色々(演習あり)					3
	12	RAWで撮影、現像					3
	13	テーマを決めて撮影					3
	14	デジタル一眼レフでの動画撮影方法					3
	15	ワンシーン・ワンカット作品制作① 概要説明 参考作品試写					3
	16	ワンシーン・ワンカット作品制作② 企画 撮影					3
	17	ワンシーン・ワンカット作品制作③ 提出 試写					3
	18	組写真① 課題を進める準備					3
	19	組写真② 課題を進める準備					3
	20	組写真③ 編集					3
	21	組写真④ 編集					3
	22	組写真⑤ 編集 合評					3
	23	まとめ					3
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数						69
教科書	配布プリント						
時間外学習							
成績評価方法	カメラ、機材操作の習熟度 30% 授業参加度 20% 提出作品状況 50%						
備考							
担当詳細	1.実務家		経歴等	1993年4月～1997年8月(株)小金井市民テレビ(番組制作業務)			

シラバス							
31年度			学校名：	専修学校インターナショナルデザインアカデミー			
学科・学年	グラフィックデザイン科1年		授業方法	講義 実習	講義時期	1年前・後期	
授業科目	DTP実習1		担当者	大河原ゆかり		科目必修区分 必修	
授業概要 (目的)	プロとしての基本的なデータ制作を身につける。またDTP（パソコン上でレイアウトする）基礎知識や販売促進ツール全般の知識を知る。 イラストレーターやフォトショップなどのアプリケーションの基本操作を身につける。						
到達目標	イラストレーターやフォトショップなどのアプリケーションを適切に操作することができる。 アプリケーションの基本操作をデザインへと応用することができる。 基本的なレイアウトを組み立て、適切に応用することができる。						
授業計画	総授業時間数	216時間	授業回数	72回	1回授業	3時間	授業時間数
	1	自己紹介 授業形式説明 DTPの役割とは？					3
	2	「バースディカード」制作実習 Illustrator基本操作					12
	3	「名刺・地図」制作実習 「DM」制作実習					12
	4	イラレ練習帳					12
	5	Mac室でのスキャニング・プリント実習					12
	6	Photoshopを使用したDTP写真補正実習					6
	7	イラストレーター検定対策					12
	8	イラストレーター検定対策					6
	9	イラストレーター検定対策、イラストレーター検定					24
	10	「旅行チラシ」制作実習					12
	11	「リーフレット」制作実習					12
	12	「雑誌レイアウト」制作実習					9
	13	「雑誌レイアウト」制作実習 出力 講評会					12
	14	「食品チラシ」制作実習					3
	15	「家具雑誌」制作実習					3
	16	フォトショップ検定対策					6
	17	フォトショップ検定対策					9
	18	フォトショップ検定対策、フォトショップ検定					24
	19	「パッケージ」制作実習 出力					9
	20	「パッケージ」制作実習 出力					9
	21	「パッケージ」制作実習 出力 講評会					9
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数						216
教科書	世界一わかりやすいIllustrator&Photoshop操作とデザインの教科書CC/CS6対応版 著者：ピクセルハウス 発行者：片岡 巖 発行所：株式会社技術評論社 定価：2140+税						
時間外 学習	授業振り返りおよび、事前学習						
成績評価 方法	出席率20%、課題提出率60%、授業取り組み姿勢20%						
備考							
担当詳細	1. 実務家		経歴等	(株)北越パッケージ平成19年～平成17年 デザイン室所属等			

シラバス							
31年度			学校名:	専修学校インターナショナルデザインアカデミー			
学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義 実習 ディスカッション	講義時期	1年前・後期		
授業科目	グラフィック実践1	担当者	謝敷宗邦	科目必修区分	必修		
授業概要(目的)	様々なデザインを観察することで、デザインの良さを見極め、デザインの楽しさを知る。デザイン業界の仕事に関するプロセスを示すことで認識する。						
到達目標	デジタル表現だけではなく、アナログ表現からのアプローチを見つけることができる。 デザイン業界の流れを把握することができる。 ディスカッションに積極的に参加することができる。 ディスカッションの内容を発表することができる。 多くのことを体験し、経験することで、ビジュアルイメージに応用することができる。						
授業計画	総授業時間数	123時間	授業回数	41回	1回授業	3時間	授業時間数
	1	ダンボーアート、パッケージアート、素材を見つけよう					11
	2	カラーハンティング(色を採取し・再現する)					4
	3	Mac基本操作設定について					3
	4	ビオスの丘フォトコンテスト撮影会					9
	5	県立博物館美術館(写真展見学)、振り返り					9
	6	AIDMAの法則とAISASの法則、グラフィックデザインの時代における変化とは					6
	7	サムネールの重要性とは。サム広告制作。					9
	8	マーケティングとは。商品のサイクルと目的別広告とは。					3
	9	コミュニケーションデザインについて、日本のCM特集、日本放送禁止CM					9
	10	BtoBマーケティングについて					9
	11	コミュニティデザインについて					6
	12	キャッチコピーの重要性と実践テクニックについて					3
	13	訴求表現方法・フライヤー、チラシ、リーフレット、屋外広告、雑誌新聞					9
	14	企業広告CIについて①					3
	15	企業広告CIについて②					3
	16	マップ・サイン・シンボルの重要性について					9
	17	これからの社会におけるデザインとは、DTPからデジタルへそして地域デザインへ					9
	18	バイラルプロモーションについて					9
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数						123
教科書	特になし						
時間外学習	特になし						
成績評価方法	授業態度40%、レポート・課題提出率40%(状況に応じて学生課題の講評会ならびに学生投票における順位を参照する)、出席率20%						
備考							
担当詳細	1. 実務家		経歴等	株式会社若菜企画 沖縄デザインセンター 制作部 平成19年3月から平成21年4月			

31年度

シラバス

学校名：専修学校インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義・実習	講義時期		
授業科目	色彩学	担当者	山城はるか	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	色彩に関わる職業に求められる知識・技能を身につける。					
到達目標	色見本や絵の具を使って、色がもつイメージや効果を知る。色彩士検定を合格する。					
授業計画	総授業時間数	30時間	授業回数	10回	1回授業 50分	授業時間数
	1	第1章 色のなりたち				3
	2	第2章 混色1				3
	3	第2章 混色2				3
	4	第3章 色の表示方法1				3
	5	第3章 色の表示方法2				3
	6	第4章 色の知覚的效果1				3
	7	第4章 色の知覚的效果2				3
	8	第5章 色の心理的效果				3
	9	第6章 色彩調和1				3
	10	第6章 色彩調和2				3
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					30
教科書	Color Master、カラーマスター過去問題 Vol.2					
時間外学習						
成績評価方法	授業態度/勤怠状況(30%)・課題提出状況(30%)・課題クオリティ/課題提出厳守(30%)・検定取得(10%)=100%					
備考						
担当詳細	1. 実務家	経歴等	プランニングヴィレッジ株式会社にてイラスト・webデザイン業務(約5年間)			

シラバス							
31年度		学校名:	専修学校インターナショナルデザインアカデミー				
学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義、実習、ディスカッション	講義時期	1年後期		
授業科目	修了制作	担当者	謝敷宗邦	科目必修区分	必修		
授業概要(目的)	一つの作品を仕上げることを目標に、スケジュール管理を身に着ける。 デザイン構築の際に示した自己表現をしっかりと実施する。 新たな価値を創造する。						
到達目標	考えを具体的に述べることができる。 スケジュールを計画することができる。 企画書とビジュアルを関連づけることができる。 ラフデザインを描写することができる。 作品をプレゼンテーションにて発表することができる。						
授業計画	総授業時間数	129時間	授業回数	43回	1回授業	3時間	授業時間数
	1	ACジャパン取り組み課題説明/昨年受賞作品の鑑賞とテーマに向けて					3
	2	自己分析からテーマの洗い出し、スケジュールの構築					3
	3	ラフ企画書の構築(過去のラフ企画書確認)					3
	4	コンセプトワードの作成(マインドマップからアイデアを広げる)					3
	5	サムネール構築					3
	6	カンパ制作					3
	7	カンパ制作					18
	8	カンパプレゼンテーション、本制作					12
	9	本制作最終調整					18
	10	本制作データ入稿					15
	11	出展イベントデザインコンプに向けての最終調整					6
	12	出展イベントデザインコンプに向けての最終調整					24
	13	デザインコンプ出展管理、振り返り					18
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数					129	
教科書	特になし						
時間外学習	制作作業、アイデア発想に関しては時間外にて取り組みを行い、授業としては制作進行と確認を主としていく						
成績評価方法	授業・課題取り組み態度40%、課題提出(スケジュール管理)率30%、出席率30%						
備考							
担当詳細	1. 実務家	経歴等	株式会社若菜企画 沖縄デザインセンター 制作部 平成19年3月から平成21年4月				

シラバス

31 年度

学校名： 専修学校インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義 実習	講義時期	1年後期
授業科目	Web基礎	担当者	大山健	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	現在主流となるWebデザインのルールを知る。また、Webデザインに必要な「情報を伝える」デザインスキルを身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●webデザインの概要を理解する事が出来る。 ●「セマンテックWeb」を理解したデザインが出来るようになる。 ●webデザインに必要な「5つセオリー」を理解したデザインが出来るようになる。 ●html5を理解したwebデザインが出来るようになる。 ●コンテンツにあったキービジュアルデザインが出来るようになる。 				
授業計画	総授業時間数	30時間	授業回数	10回	1回授業 50分
	1	インターネット基礎知識1			3
	2	インターネット基礎知識2			3
	3	模擬問題			3
	4	webデザイン5つのセオリー1			3
	5	webデザイン5つのセオリー2			3
	6	Webデザイン実習 (レイアウト、キービジュアル)			3
	7	Webデザイン実習 (グローバルナビゲーション、フォント)			3
	8	Webデザイン実習 (写真加工、画像フォーマット、解像度)			3
	9	Webデザイン実習 (セマンテックweb)			3
	10	模擬問題			3
	11				
	12				
	13				
	合計時間数				30
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	【授業態度 40パーセント 課題提出 60パーセント】				
備考					
担当詳細	1. 実務家	経歴等	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ソフテム「プログラマー」;実務2年 ・(有)モドレーアイ「マルチメディアデザイナー」;実務2年 ・(株)りゅうせき「デジタルメディアディレクター」;実務2年 ・(有)ライダー「Webデザイナー」;実務1年 ・(株)外為どっこコム「Webデザイナー」;実務2年 ・サウンドディレクター、映像クリエイター 		

シラバス						
31年度		学校名：	専修学校インターナショナルデザインアカデミー			
学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義	講義時期	1年前期	
授業科目	Mac概論	担当者	金城智博	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	ソフト操作に目が行きがちなノートパソコンのシステム部分に言及し、普段使用する際に起きうるトラブルの対処法についても学ばせ、「PCの仕組みがわかるデザイナー」を身につける。					
到達目標	パソコンに必要な環境設定を操作することができる。 パソコンに不具合が生じた際に原因を見つけることができる。 不具合の原因を解決することができる。					
授業計画	総授業時間数	18時間	授業回数	6回	1回授業	3時間
	1	ノートパソコンMacBookの歴史、仕様・内部について				18
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					18
教科書						
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習					
成績評価方法	出席率60%、授業取り組み姿勢40%					
備考						
担当詳細	1. 実務家	経歴等	広告会社「楽園」3年勤務、デザイン事務所代表、現在12期目			

シラバス						
31年度			学校名:	専修学校インターナショナルデザインアカデミー		
学科・学年	グラフィックデザイン科1年		授業方法	講義、プレゼンテーション	講義時期	1年前・後期
授業科目	プレゼンテーション		担当者	謝敷宗邦	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	卒年次のプレゼンテーションを通して、自己作品をアピールを認識する。 また作品を評価することで価値を認め、次の作品へ活かすことができる。					
到達目標	作品を解釈することができる。 他作品と自身のイメージを比較することができる。 次の作品制作へ応用することができる。					
授業計画	総授業時間数	24時間	授業回数	8回	1回授業	3時間
	1	デジタルデザイン科、マンガ科卒年次卒業制作プレゼンテーション見学				12
	2	グラフィックデザイン科卒年次卒業制作プレゼンテーション見学				12
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					24
教科書	特になし					
時間外学習	特になし					
成績評価方法	出席率50%、審査評・レポートなどの提出率25%、授業見学態度25%					
備考						
担当詳細	1. 実務家		経歴等	株式会社若菜企画 沖縄デザインセンター 制作部 平成19年3月から平成21年4月		

シラバス					
31年度		学校名:	専修学校インターナショナルデザインアカデミー		
学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義 実習	講義時期	1年前・後期
授業科目	県外・海外研修	担当者	謝敷宗邦	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	普段の環境とは違う、様々な物事を見聞きすることでデザインの広さを知り、感性を高める。 企業訪問やワークショップを通して、就職活動における業界の知識を得る。 企業へのアポイントを自ら行うことで、社会的自立を促す。また、スケジュール管理を身につける。				
到達目標	授業内容とデザイン業界の動きを関連づけることができる。 就職においての方向性を見つけることができる。 企業訪問などで、疑問点を具体的に述べるができる。 スケジュール管理を行うことができる。				
授業計画	総授業時間数	24時間	授業回数	4回 1回授業 6時間	授業時間数
	1	研修旅行(東京予定)企業訪問を主軸にアポイントから訪問までを学生主体で実施			24
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				24
教科書 時間外 学習	特になし				
成績評価 方法	出席率50%、授業取組内容(アポイントなどの積極性)30%、レポート20%				
備考					
担当詳細	1. 実務家	経歴等	株式会社若葉企画 沖縄デザインセンター 制作部 平成19年3月から平成21年4月		

シラバス						
31年度		学校名:	専修学校インターナショナルデザインアカデミー			
学科・学年	グラフィックデザイン科1年	授業方法	講義、実習	講義時期	1年後期	
授業科目	インターンシップ1	担当者	謝敷宗邦	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	企業訪問や企業実習を通して、業界の動きを認識する。卒年次に向けて就職活動の方向性を考える。実習を通して、報告、連絡、相談を徹底し社会のマナーを身につける。					
到達目標	就職活動における、目指すべき道を見つけることができる。 日誌を通して、自習内容を担任へ報告することができる。 実習内容をプレゼンテーションを通して具体的に述べるができる。					
授業計画	総授業時間数	117時間	授業回数	39回	1回授業	3時間
	1	卒年次インターンシップ報告会見学				12
	2	インターンシップアポイントについて				3
	3	インターンシップアポイント①				6
	4	インターンシップアポイント②				6
	5	インターンシップ(企業実習期間)				30
	6	インターンシップ(企業実習期間)				30
	7	インターンシップ(企業実習期間)				30
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					117
教科書	特になし					
時間外学習	・特になし					
成績評価方法	出席率50%(企業実習期間含む)、日誌の提出率30%、授業取り組み態度20%					
備考						
担当詳細	1. 実務家		経歴等	株式会社若菜企画 沖縄デザインセンター 制作部 平成19年3月から平成21年4月		

シラバス

平成31 年度

学校名： インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	グラフィックデザイン科2年次	授業方法	講義	講義時期	前期・後期	
授業科目	志学Ⅱ	担当者	山田 祥包	科目必修区分	必須	
授業概要 (目的)	前期にて教科書「志学Ⅱ」第1章～第6章を使用する。就職活動も兼ねるので外部活動も含む時間数として他人として長期的に職場やプライベートで飛躍、輝く人生の在り方を考察する。 様々な苦難を乗り越え、周囲を支え、大きな人望を得られる人間力を知る。					
到達目標	志を自らの人生に当てはめた構築とその継続、そこから得た反省と再構築を繰り返すことができる。 他人やその事柄について良い部分を感じ取り、影響を受けることができる。 事象に対して常にポジティブな捉え方を習慣化し、自らの感覚と融合させ、その次へ繋がる発言ができる。					
授業計画	総授業時間数	141時間	授業回数	47回	1回授業 3時間	授業時間数
1週目	1	序章 立志についてのグループディスカッション			6	
2週目	2	第1章 志とは 1～3			6	
3週目	3	第1章 志とは 4～6			6	
4週目	4	第2章 「志」高く生きた人に学ぶ 1～5 吉田松陰について			6	
5週目	5	第2章 「志」高く生きた人に学ぶ 自分のロールモデルについてのグループディスカッション			6	
6週目	6	第3章 感化力(よい影響を受ける力) 1～2 自分のロールモデルについての発表			6	
7週目	7	第3章 感化力(よい影響を受ける力) 3～4 諸外国との比較 グループディスカッション			6	
8週目	8	第4章 考える力(「知行合一」を高める力) 1～4 テンプレート、マトリックス記入			6	
9週目	9	第4章 考える力(「知行合一」を高める力) 5～7 自己把握、原因シート、ツリ、比較シート記入			6	
10週目	10	第5章 伝える力(想いを言葉に変える力) 1～3 High&Low記入			6	
11週目	11	第5章 伝える力(想いを言葉に変える力) 4～7 教科書空欄記入			6	
12週目	12	第6章 わたしの「志」1～3 CAN、WILL、MUST記入			6	
13週目	13	第6章 わたしの「志」まとめのグループディスカッションと振り返り			6	
14週目	14	ポートフォリオ整理			6	
15週目	15	ポートフォリオ整理			6	
16週目	16	ポートフォリオ整理			6	
17週目	17	面接練習			6	
18週目	18	面接練習			6	
19週目	19	面接練習			6	
20週目	20	ハローワーク訪問、企業訪問&面接			6	
21週目	21	ハローワーク訪問、企業訪問&面接			6	
22週目	22	企業訪問&面接			6	
23週目	23	企業訪問&面接			6	
24週目	24	企業訪問&面接			6	
	合計時間数				141	
教科書						
時間外学習						
成績評価方法備考	授業態度/勤怠状況 課題提出物状況 提出期限厳守 【授業態度/勤怠状況 70%、課題提出状況 30%】					
担当詳細	1. 実務家		経歴等	広告会社楽園1年勤務、月刊うるま7-12年勤務		

シラバス						
31年度			学校名：	専修学校インターナショナルデザインアカデミー		
学科・学年	グラフィックデザイン科2年		授業方法	講義	講義時期	1年前期
授業科目	DTP II種検定		担当者	謝敷宗邦	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	印刷物を作る上での必要最低限の基礎知識を身につける。 デザイン業界の流れを把握する。					
到達目標	DTP2種検定試験を通して、印刷の基礎知識を把握することができる。 試験に向けたスケジュール管理を行うことができる。					
授業計画	総授業時間数	66時間	授業回数	22回	1回授業 3時間	授業時間数
	1	印刷物作成のワークフローとディレクション業務①				3
	2	印刷物作成のワークフローとディレクション業務②				3
	3	印刷物作成のワークフローとディレクション業務③				3
	4	企画と編集作業①				3
	5	企画と編集作業②				3
	6	デザインと校正作業①				3
	7	デザインと校正作業②				3
	8	入稿と印刷①				3
	9	入稿と印刷②				3
	10	他メディアへの展開				3
	11	問題集を活用した試験対策				12
	12	問題集を活用した試験対策と検定試験				24
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					66
教科書 時間外 学習	印刷メディアディレクション [改訂版]、定価：本体3,500円+税、発行日：2017年2月20日、発行・発売：(株)ポーンデジタル ISBN：978-4-86246-370-8 【PDF】DTP検定ディレクション問題集 2017年改訂問題対応（ネットダウンロード/1,728円（税込））					
成績評価 方法	出席率25%、授業態度25%、検定取り組み姿勢30%、検定合格率ならびに検定の点数20%					
備考						
担当詳細	1. 実務家		経歴等	株式会社若菜企画 沖縄デザインセンター 制作部 平成19年3月から平成21年4月		

シラバス

31年度		学校名：専修学校インターナショナルデザインアカデミー	
学科・学年	グラフィックデザイン科2年	授業方法	講義 実習
授業科目	コンセプト道場	担当者	伊東正彦
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトからデザインを創造するスキルをさらに高める。 ・オープンデザインコンペティションに参加することで、より高いデザインワークをめざす意識を身につける。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ライバルたちとのコンペティションを勝ち抜く意識を示すことができる。 ・「コンセプト」のクオリティへの貪欲さを示すことができる。 		
授業計画	総授業時間数	54時間	授業回数
			18回
			1回授業
			3時間
			授業時間数
	1	オープンコンペティションへの挑戦「JAGDA国際学生ポスターアワード2019」①	9
	2	オープンコンペティションへの挑戦「JAGDA国際学生ポスターアワード2019」②	18
	3	オープンコンペティションへの挑戦「宣伝会議賞2019」	18
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		54
教科書	特になし		
時間外学習	自宅や放課後などを活用し、コンセプトメイキングの打ち合わせをチームで実施		
成績評価方法	出席率30%、授業取り組み姿勢30%、コンセプト・プレゼンテーション40%		
備考			
担当詳細	1. 実務家	経歴等	株式会社アサツーディ・ケイ HATOYA株式会社 広告企画・制作業務歴36年

シラバス						
31年度			学校名：	専修学校インターナショナルデザインアカデミー		
学科・学年	グラフィックデザイン科2年		授業方法	講義 実習	講義時期	2年前期
授業科目	Web応用		担当者	大山健	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	Webページがブラウザで表示される仕組みを知る。また、Webページを作成する際に必要なhtml言語の知識を身につける。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●html言語の文法を応用する事が出来る。 ●CSS言語の文法を応用する事が出来る。 ●position(CSS言語) を活用して自由にレイアウト配置が出来るようになる。 ●絶対パスと相対パスの違いを理解し、階層構造を理解する。 ●ブロック要素とインライン要素を活用したコーディングが出来るようになる。 ●html5の仕様を理解し、セマンティック概念のコーディングが出来るようになる。 					
授業計画	総授業時間数	36時間	授業回数	12回	1回授業	50分
	1	インターネット概要・プログラミングとは？・Webの仕組み				3
	2	html言語基礎（1）html,head,body,img,aタグ				3
	3	html言語基礎（2）p,span,div,tableタグ				3
	4	html言語基礎（3）list,float,formタグ				3
	5	練習課題A				3
	6	CSS言語基礎（1）CSS文法、クラスとIDの違い、スコープ、外部リンク				3
	7	CSS言語基礎（2）背景、飾り付け、罫線操作				3
	8	CSS言語基礎（3）Box操作1				3
	9	CSS言語基礎（4）Box操作2（float,positionほか）				3
	10	応用1 html言語とCSS言語の組み合わせ1				3
	11	応用1 html言語とCSS言語の組み合わせ2				3
	12	総まとめ				3
	13					
	14					
	15					
	合計時間数					36
教科書	特になし ・特になし					
時間外学習	【授業態度 40パーセント 課題提出 60パーセント】					
成績評価方法						
備考						
担当詳細	1. 実務家		経歴等	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ソフテム「プログラマー」:実務2年 ・(有)モドレーアイ「マルチメディアデザイナー」:実務2年 ・(株)りゅうせき「デジタルメディアディレクター」:実務2年 ・(有)ライデリ「Webデザイナー」:実務1年 ・(株)外為どっこコム「Webデザイナー」:実務2年 ・サウンドディレクター、映像クリエイター 		

シラバス							
平成31年度			学校名:	インターナショナルデザインアカデミー			
学科・学年	グラフィックデザイン科2年次		授業方法	講義/実習		講義時期	前期
授業科目	写真応用		担当者	東 英児		科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	様々な作品を鑑賞し、自分の撮りたい写真とは何かを考える。テーマにそって撮影し、作品のディスカッションを行い、						
到達目標	・絞りとシャッタースピード、露出を理解して適切なカメラ操作ができる。・写真作品の制作に必要なコンセプトを考える。						
授業計画	総授業時間数	78時間	授業回数	26回	1回授業	150分	授業時間数
	1	授業の説明 公共広告写真を考える(ワーク)					3
	2	写真基礎知識 絞りとシャッタースピードについて①					3
	3	写真基礎知識 絞りとシャッタースピードについて②					3
	4	デジタル一眼レフ操作の基礎 課題:セルフポートレイト					3
	5	写真の基礎知識 色温度とホワイトバランス					3
	6	課題①「セルフポートレイト」提出					3
	7	RAWデータによる撮影・現像方法 課題②「家族」に関して					3
	8	写真の基礎知識 レンズと構図					3
	9	課題②「家族」提出					3
	10	課題③「地域」に関して					3
	11	写真共有サイト利用方法					3
	12	課題③「地域」提出					3
	13	デジタル一眼レフでの動画撮影方法					3
	14	ワンシーン・ワンカット作品制作① 概要説明 参考作品試写					3
	15	ワンシーン・ワンカット作品制作② 企画 撮影					3
	16	ワンシーン・ワンカット作品制作③ 提出 試写					3
	17	ムービー実習「最後のセリフ」① 概要説明 参考作品試写					3
	18	ムービー実習「最後のセリフ」② 企画 撮影					3
	19	ムービー実習「最後のセリフ」③ 提出 試写					3
	20	組写真① 課題を進める準備					3
	21	組写真② 課題を進める準備					3
	22	組写真③ 撮影					3
	23	組写真④ 撮影 編集					3
	24	組写真⑤ 編集 合評					3
	25	組写真⑥ 合評					3
	26	まとめ					3
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数						78
教科書	配布プリント						
時間外学習							
成績評価方法	カメラ、機材操作の習熟度 30% 授業参加度 20% 提出作品状況 50%						
備考							
担当詳細	1. 実務家		経歴等	1993年4月～1997年8月(株)小金井市民テレビ(番組制作業務)			

シラバス					
31年度		学校名:	専修学校インターナショナルデザインアカデミー		
学科・学年	グラフィックデザイン科2年	授業方法	講義	講義時期	2年前期
授業科目	インデザイン	担当者	謝敷宗邦	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	授業を通してインデザインの役割を理解する、また基本的な操作を身につける。 イラストレーターやフォトショップとの連携を確認する。				
到達目標	基本的な操作をすることができる。 インデザインで作品を表現することができる。 その他ソフトと連携を工夫することができる。				
授業計画	総授業時間数	27時間	授業回数	9回	1回授業 3時間
	1	インデザインの基本(起動と操作、ワークスペース、環境設定)			3
	2	印刷の基本、グリッドシステムの基本			3
	3	小冊子を作成する①			3
	4	小冊子を作成する②			3
	5	小冊子を作成する③			3
	6	パンフレットを作成する①			3
	7	パンフレットを作成する②			3
	8	パンフレットを作成する③			3
	9	PDFを作成し、アクションを挿入する			3
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				27
教科書	IllustratorとPhotoshopとInDesignを丸ごと使えるようになりたいという欲ばりな人のための本 発行所:株式会社エクснаレッジ、本体価格:2500+税、発行者:澤井聖一、著者:I&D				
時間外 学習	授業内でのわからないところの復習を含む、振り返り学習				
成績評価 方法	出席率40%、授業取り組み姿勢30%、課題提出状況30%				
備考					
担当詳細	1. 実務家	経歴等	株式会社若菜企画 沖縄デザインセンター 制作部 平成19年3月から平成21年4月		

シラバス

学科・学年	31年度		学校名： 専修学校インターナショナルデザインアカデミー		
授業科目	グラフィックデザイン科2年	授業方法	実習/講義	講義時期	前期・後期
授業概要	イラストデザインコース				
担当者	伊藤 幹		科目必修区分	必須	
授業概要 (目的)	小課題を中心にラフ、コンテの時点でデザインの8~9割を構築してゆく、イラストとデザインの関係性レイ				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●実際のクライアントや自主企画に生じる課題や問題点を考察し、必要なイラスト表現として表現することができる。 ●解決すべき問題点の発見とその解決策を広い視野で模索することができる。 ●解決策をコンセプチュアルに考えることができる。 ●コンセプトに基づき効果的なグラフィックツールの選定ができる。 ●グラフィックツールを一定以上のクオリティで制作することができる。 				
授業計画	総授業時間数	204時間	授業回数	34回	1回授業 6時間
					授業時間数
1 週目	1	自己紹介プレゼン、スケジュール発表、小課題1(本の表紙)説明~ラフ考察			6
2 週目	2	本の表紙 ラフチェック~ラフ決定、下書き開始、作画開始			6
3 週目	3	本の表紙 下書き~作画(タイトル、作者名等文字のレイアウト)各直し			6
4 週目	4	本の表紙 仕上がりプレゼン、講評会 課題2グループ課題説明(カレンダー)			6
5 週目	5	カレンダー 形態決めグループ事のカレンダー内容決定、ラフ作業開始			6
6 週目	6	カレンダー ラフチェック直しグループ事のコンセプトに合ったラフか?			6
7 週目	7	カレンダー ラフチェックしながら下絵に進む、カレンダー数字部分のチエツ			6
8 週目	8	カレンダー ラフから下絵総チェック~作画			6
9 週目	9	カレンダー 作画を進行しながら、カレンダーの製本を考えながら制作			6
10 週目	10	カレンダー 作画、コマ、表紙トータルチェック直し プレゼンに備える			6
11 週目	11	カレンダー プレゼン、講評会 卒業制作企画提出最終締め切り			6
12 週目	12	夏休み中の卒制進行状況チェック(休みの使い方スケジュールの見直し等)			6
13 週目	13	夏休み中の卒制新港状況チェック			6
14 週目	14	休み明け、卒制進行状況とスケジュールの再チェック			6
15 週目	15	卒制各ツール制作			6
16 週目	16	卒制各ツール制作			6
17 週目	17	卒制各ツール制作			6
18 週目	18	卒制各ツール制作			6
19 週目	19	卒制各ツール制作			6
20 週目	20	卒制各ツール制作			6
21 週目	21	卒制各ツール制作			6
22 週目	22	卒制各ツール制作			6
23 週目	23	卒制各ツール制作			6
24 週目	24	卒制各ツール制作			6
25 週目	25	卒制各ツール制作			6
26 週目	26	卒制各ツール制作			6
27 週目	27	卒業制作、クラス内プレゼンテーション、講評会			6
28 週目	28	卒業制作直し、ブラッシュアップ			6
29 週目	29	卒業制作直し、ブラッシュアップ			6
30 週目	30	卒業制作直し、ブラッシュアップ			6
31 週目	31	卒業制作直し、ブラッシュアップ			6
32 週目	32	卒業制作直し、ブラッシュアップ			6
33 週目	33	プレゼン			6
34 週目	34	プレゼン、コース反省会			6
	合計時間数				204
教科書	イラストレーション、DTP教科書、イラスト年間等				
時間外学習	授業時間外、次の授業に間に合うように放課後や家庭学習をきちんとして来る事。必須				
成績評価方法	授業態度/勤怠状況 課題提出物状況 課題クオリティ/提出期限厳守				
備考	【授業態度/勤怠状況 20パーセント、課題提出状況 20パーセント、課題クオリティ/提出期限厳守 60パーセント】				
担当詳細	1. 実務家	経歴等	デザイナー/オホTカグ/07年7~10月/デザイナー勤務後、フリーイラストレーター26年目。		

シラバス						
31年度			学校名：	専修学校インターナショナルデザインアカデミー		
学科・学年	グラフィックデザイン科2年（観光デザインコース）		授業方法	講義 実習 ディスカッション	講義時期	2年前・後期
授業科目	観光デザインコース（卒業制作）		担当者	謝敷宗邦	科目必修区分	選択
授業概要（目的）	観光をキーワードにブランディング、プロモーション展開を意識した作品作りを実施する。コミュニケーション能力を養い、クライアントの要望以上の成果を示す。役割や立場を理解しチームとしての動きを意識する。					
到達目標	クライアントに考えをしっかりと説明することができる。 プレゼンテーションを通して、作品を発表することができる。 クライアントの要望を受け入れ、表現することができる。 チームとして立場を理解し、協調することができる。					
授業計画	総授業時間数	204時間	授業回数	34回	1回授業	6時間
						授業時間数
	1	課題取り組み①ロゴマーク制作（企業訪問、課題のオリエンテーション、アイデア				6
	2	課題取り組み②ラジオCM制作（企業訪問し、課題のオリエンテーション、アイデア				6
	3	課題取り組み①ロゴマーク制作進行				6
	4	課題取り組み②ラジオCM制作進行				6
	5	デザインコンプに向けてコザ見学ツアー				6
	6	パッケージデザイン取り組み課題オリエンテーション（アイデア発想）				6
	7	パッケージデザイン取り組み課題クライアント打ち合わせ				6
	8	パッケージデザイン取り組み①				6
	9	パッケージデザイン取り組み②				6
	10	パッケージデザイン取り組み③				6
	11	卒業制作課題に関するオリエンテーション①				6
	12	卒業制作課題に関するオリエンテーション②				6
	13	卒業制作課題取り組み①				12
	14	卒業制作課題取り組み②				12
	15	卒業制作課題取り組み③				6
	16	卒業制作課題取り組み④				12
	17	卒業制作課題取り組み⑤				12
	18	卒業制作課題取り組み⑥				12
	19	卒業制作課題取り組み⑦				12
	20	卒業制作課題取り組み集中期間				24
	21	卒業制作課題取り組み集中期間、卒業制作プレゼンテーション				30
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					204
教科書	特になし					
時間外学習	卒業課題を自宅でも並行して作業していく。					
成績評価方法	出席率30%、課題取り組み姿勢30%、制作物の評価20%、クライアント採用、公募実績20%					
備考						
担当詳細	1. 実務家		経歴等	株式会社若菜企画 沖縄デザインセンター 制作部 平成19年3月から平成21年4月		

シラバス

31年度

学校名： 専修学校インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	グラフィックデザイン科2年	授業方法	講義/実習	講義時期	前期	
授業科目	グラフィックデザインコース	担当者	金城智博	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	コース選択の学生が各自の視点で発信型の企画を、アドヴァタイジングという形で余すところなく表現できるよう様々な広告展開とツールづくりを実践し高い企画力とい技術力を身につけさせる。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●実際のクライアントとのコミュニケーションと抱える問題点を考察することができる。 ●解決すべき問題点の発見とその解決策を広い視野で模索することができる。 ●解決策をコンセプトualに考えることができる。 ●コンセプトに基づき効果的なグラフィックツールの選定ができる。 					
授業計画	総授業時間数	204時間	授業回数	34回	1回授業 6時間	授業時間数
1週目	1	キックオフ/初回オリエンテーション			6	
2週目	2	午前：広告とその業界について 午後：個別ヒアリング			6	
3週目	3	午前：グラフィックデザイナー/多様な広告活動について			6	
4週目	4	午前：紙に関する知識/文字に関する知識 午後：個別ヒアリング			6	
5週目	5	午前：ブランディングとコンセプトの話 ヒット商品の歴史について 午後：1			6	
6週目	6	午前：ロングセラー商品について 午後：個別ヒアリング			6	
7週目	7	午前：アイデア抽出の方法あれこれ 午後：個別ヒアリング			6	
8週目	8	ラフ企画書制作に関わる活動			6	
9週目	9	ラフ企画チェック			6	
10週目	10	ラフ企画チェック			6	
11週目	11	ラフ企画(テーマ&クライアント)完全確定 ※インシブ&夏休み期間に制作ツ			6	
12週目	12	メインツール/サブツール案出し①			6	
13週目	13	メインツール/サブツール案出し②			6	
14週目	14	制作ツール案チェック/メインツール/サブツール制作指導			6	
15週目	15	制作ツール案チェック/メインツール/サブツール制作指導			6	
16週目	16	メインツール/サブツール制作指導			6	
17週目	17	メインツール/サブツール制作指導			6	
18週目	18	メインツール/サブツール制作指導			6	
19週目	19	メインツール/サブツール制作指導			6	
20週目	20	メインツール/サブツール制作指導			6	
21週目	21	メインツール/サブツール制作指導			6	
22週目	22	メインツール/サブツール制作指導			6	
23週目	23	メインツール/サブツール制作指導			6	
24週目	24	メインツール/サブツール制作指導			6	
25週目	25	メインツール/サブツール制作指導			6	
26週目	26	メインツール/サブツール制作指導			6	
27週目	27	メインツール/サブツール制作指導 ※この週で制作物完全校了目標			6	
28週目	28	メインツール/サブツール制作指導 ※この週で制作物完全校了目標			6	
29週目	29	メインツール/サブツール制作指導 ※この週で制作物完全校了目標			6	
30週目	30	コース内プレゼン/最終調整/本プレゼン			6	
31週目	31	コース内プレゼン/最終調整/本プレゼン			6	
32週目	32	コース内プレゼン/最終調整/本プレゼン			6	
33週目	33	コース内プレゼン/最終調整/本プレゼン			6	
34週目	34	コース内プレゼン/最終調整/本プレゼン			6	
	合計時間数				204	
教科書	特になし					
時間外学習						
成績評価方法	授業態度/勤怠状況 課題提出物状況 課題クオリティ/提出期限厳守					
備考	【授業態度/勤怠状況 20パーセント、課題提出物状況 20パーセント、課題クオリティ/提出期限厳守 60パーセント】					
担当詳細	1. 実務家	経歴等	広告会社楽園勤務3年、デザイン事務所代表12期目			

